

授業科目	*母子栄養学				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	MI11105J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2			
担当教員	天本 理恵							
授業概要	周産期の健康教育に必要な栄養管理のあり方について解説する。周産期の病態における必要な食事療法について解説する。母乳栄養の必要性や人工栄養について、調乳の実習を通して理解を促す。乳児期・幼児期・思春期・更年期の各ライフステージに起こりやすい栄養関連疾患をふまえた健康教育に必要な栄養管理について解説する。なお、本講義は全て遠隔授業として実施する。							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. マタニティサイクル各期における健康教育に必要な母子の栄養と食事について説明することができる(DP1-1、DP1-2、DP2-1、DP2-2)。</p> <p>2. 妊娠期と乳幼児期の病態栄養およびその栄養管理について説明することができる(DP1-1、DP1-2、DP2-2)。</p> <p>3. 幼児期、思春期、更年期における健康教育に必要な栄養管理について説明することができる(DP1-2)。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	95	0	0	0	0	5	100	
知識・理解 (DP1-1)	25						25	
知識・理解 (DP1-2)	50					5	55	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10						10	
思考・判断 (DP2-2)	10						10	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>1. マタニティサイクル各期における健康教育に必要な母子の栄養と食事について説明することができ、対象の母子に栄養管理を含めた最適な健康教育の実施ができる。</p> <p>2. 妊娠期と乳幼児期の病態栄養およびその栄養管理について説明することができ、医療現場での知識と実践の統合を図ることができる。</p> <p>3. 幼児期、思春期、更年期における健康教育に必要な栄養管理について説明することができ、各ライフステージにおいて栄養管理を含めた健康教育を実践できる。</p>				<p>1. マタニティサイクル各期における健康教育に必要な母子の栄養と食事について説明することができる。</p> <p>2. 妊娠期と乳幼児期の病態栄養およびその栄養管理について説明することができる。</p> <p>3. 幼児期、思春期、更年期における健康教育に必要な栄養管理について説明することができる。</p>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	・栄養について(導入) エネルギーと栄養素および日本人の食事摂取基準について概説する。 ・妊娠期栄養(1) 妊娠期の栄養と妊娠期の食事摂取基準 2020年版について解説する。	講義	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。既習の栄養学を復習しておく。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~60分 復習 30分
2	妊娠期の栄養(2) 妊娠期の栄養アセスメント、食生活指針、妊娠前期、中期、後期にふさわしい栄養管理、食事提供について解説する。	講義	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~60分 復習 30分
3	妊娠期の栄養(3) 妊産婦の病態栄養(妊娠貧血・妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病など)とその栄養管理について解説する。	講義	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~60分 復習 30分
4	・妊娠期の栄養(4) 妊産婦の病態栄養(妊娠貧血、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病など)の続きと、それらの栄養管理について解説する。 ・授乳期の栄養(1) 授乳婦の栄養アセスメント、授乳と栄養、授乳期のレシピ例等について解説する。	講義	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~60分 復習 30分
5	・授乳期の栄養(2) 授乳婦の栄養アセスメント、授乳と栄養、授乳期のレシピ例等について解説する。 ・乳児期の栄養 乳児期の栄養アセスメント、調乳、離乳食(授乳・離乳支援ガイド)について解説する。	講義	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~60分 復習 30分
6	乳・幼児期栄養 乳幼児期の病態栄養について解説する。	講義	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。調乳に関するガイドラインを読んでおく(下記参考図書欄参照)。 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	予習 15~60分 復習 30分
7	思春期栄養および更年期栄養 成長期の貧血、ダイエット、摂食障害、更年期障害と栄養などについて概説する。	講義	予習:テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。(特に思春期の摂食障害、貧血と更年期障害) 復習:配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配	予習 15~60分 復習 60分

			布資料に書き込む。母子栄養学のポイントをまとめ、試験に臨む。	
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	既習の母性看護学、栄養学(臨床栄養学含む)の知識が必要になります。栄養学に関しては、母子栄養学の講義の中で、栄養学の基本も概説する予定にしていますので、実務が長い学生さんも安心して受講してください。			

テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・助産学講座 3 基礎助産学 3 母子の健康科学 医学書院 ・助産学講座 6 助産診断・技術学 2 [1]妊娠期 <p>必要に応じてパワーポイントの資料や参考資料を配布する。</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・「厚生労働省策定 日本人の食事摂取基準 2020 年版」第一出版 K.K 厚生労働省のサイトからもダウンロードできます。 ・妊産婦のための食生活指針 厚生労働省 ・授乳・離乳支援ガイド 厚生労働省 ・乳児用調整粉乳の安全な調乳、保存及び取扱いに関するガイドライン(WHO/UNICEF) 厚生労働省 ・病気がみえる 10 産科第 4 版 MEDIC MEDIA <p>※献立集を本学図書館で参考にする場合は、「応用栄養学」で検索してください。 (応用栄養学の中の母性栄養、乳児栄養を参考にしてください。) または、指定図書に妊娠期、授乳期や乳児期のレシピ集を指定しています。</p>
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>既習の母性看護学、栄養学と関連づけて展開するので復習、自己学習をしておいて下さい。妊産婦、授乳婦の方は食事に大変興味をお持ちです。この機会に色々な食品にふれて、講義で学んだ栄養に関する知識と関連付け、対象者からの食事の相談等に活かして欲しいと思っています。</p>
達成度評価に関するコメント	<p>試験等の内容に関しては、講義の中で指示します。 「その他」は、講義に関する意欲(内容確認の小テストなど)で評価します。</p>